

1. 事業評価説明シート

(区分) **国補**・県単

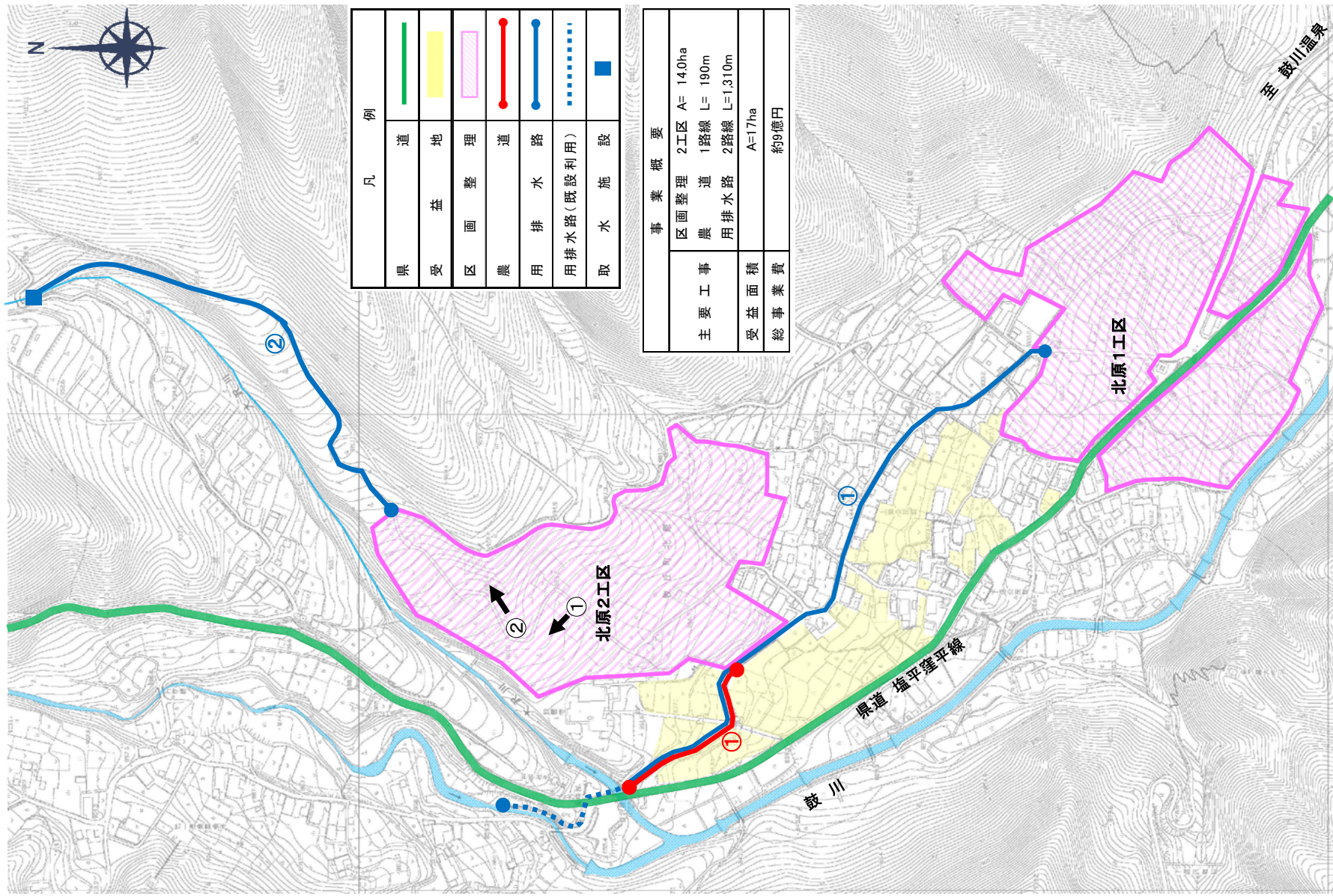
事業名	畑地帯総合整備事業(国補)	事業箇所	山梨市牧丘町北原	地区名	きたばら 北原	事業主体	山梨県
------------	---------------	-------------	----------	------------	------------	-------------	-----

<p>(1) 事業概要</p> <p>①課題・背景 本地区は山梨市北部の中山間地域に位置し、標高が800m前後と比較的高いことから昼夜の寒暖差を活かし果樹を中心とした農業が営まれ、特に巨峰が盛んに栽培されている。しかし、地区内の農地は小区画かつ急勾配などの条件不利な農地が多く、また農業者の高齢化や地区外への移住などによる離農者も増加していることから、近年、耕作放棄地の増加が懸念されている。このことから基盤整備を実施し、営農効率の向上、耕作放棄地の解消を図るとともに、整備後の農地を中間管理機構を活用し農地集積することで、新たな担い手の参入を推進するものである。</p> <p>②整備目標・効果</p> <p><input type="checkbox"/> 主要目標 ○農業生産力の向上 ・農業所得増加額 3,490千円/ha\geq2,429千円/ha※</p> <p><input type="checkbox"/> 副次目標 ○農業用排水能力の向上 ・施設老朽度 使用年数(50年)÷耐用年数(30年)=1.7\geq1.0※ ・用排水能力向上率 (計画用水能力0.08m³/s)÷(現況用水能力0.06m³/s) =1.3\geq1.0※ (※評価基準値)</p> <p><input type="checkbox"/> 副次効果 ○果樹園景観の保全 ○遊休農地の解消 ○重要プロジェクトとしての位置づけ(新やまなし農業大綱)</p>	<p>(3) 事業の妥当性評価 妥当・妥当でない</p> <p>①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>・本地区の整備は食料・農業・農村基本法に位置づけられている、農業の持続的発展、食料の安定供給、多面的機能の発揮に資するものであり、行政が行うべきである。</p> <p>②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>「土地改良法施行令」第50条第4項により県が主体となって行うべきである。</p> <p>③経済妥当性 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>900 百万円</td> <td>工期</td> <td>H31~H36</td> <td>基準年</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>796 百万円</td> <td colspan="3">便益</td> <td>1,158 百万円</td> </tr> <tr> <td>当該事業</td> <td>718 百万円</td> <td>作物生産</td> <td colspan="2">218 百万円</td> </tr> <tr> <td>関連事業費等</td> <td>78 百万円</td> <td>営農経費削減</td> <td colspan="2">291 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>百万円</td> <td>走行経費削減</td> <td colspan="2">474 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>百万円</td> <td>その他※</td> <td colspan="3">175 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align:center;">B/C=1.5</td> </tr> </table> <p>※その他は、品質向上便益、維持管理費節減便益 費用便益比(B/C)は、1.0を超えており、経済効果性は確保されている。</p> <p>④事業実施・規模の妥当性 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>・営農条件を改善する上で必要な整備量としている。</p> <p>⑤整備手法の有効性 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>・受益面積規模、事業対象工種から、畑地帯総合整備事業で対応することが妥当である。</p> <p>⑥環境負荷等への配慮 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>・大規模な土の切盛の際は環境等への影響を最小限にする措置を講じる。</p> <p>⑦事業計画の熟度 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>・早期着工の要望あり</p> <p style="text-align:center;">総合評価 [貢献度ランク：a] <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>	総事業費	900 百万円	工期	H31~H36	基準年	H30	経済効率性	費用	796 百万円	便益			1,158 百万円	当該事業	718 百万円	作物生産	218 百万円		関連事業費等	78 百万円	営農経費削減	291 百万円			百万円	走行経費削減	474 百万円			百万円	その他※	175 百万円			B/C=1.5					
総事業費	900 百万円	工期	H31~H36	基準年	H30																																				
経済効率性	費用	796 百万円	便益			1,158 百万円																																			
	当該事業	718 百万円	作物生産	218 百万円																																					
	関連事業費等	78 百万円	営農経費削減	291 百万円																																					
		百万円	走行経費削減	474 百万円																																					
	百万円	その他※	175 百万円																																						
B/C=1.5																																									

<p>(2) 整備内容</p> <p>①整備内容 用排水施設 L=1,310m、農道 L=190m、区画整理14ha</p> <p>②着手年度 平成31年度 ③完成見込年度 平成36年度</p> <p>④総事業費 約900百万円 (国費495百万円(5.5/10)、県費225百万円(2.5/10)、市費等180百万円(2.0/10))</p> <p>⑥全体計画 (年度別整備内容) (事業費)</p> <table style="width:100%;"> <tr> <td>平成31年度</td> <td>測量・設計</td> <td>20百万円</td> </tr> <tr> <td>平成32年度</td> <td>区画整理 用排水施設</td> <td>150百万円</td> </tr> <tr> <td>平成33年度</td> <td>区画整理 農道</td> <td>200百万円</td> </tr> <tr> <td>平成34年度</td> <td>区画整理 用排水施設</td> <td>200百万円</td> </tr> <tr> <td>平成35年度</td> <td>区画整理</td> <td>200百万円</td> </tr> <tr> <td>平成36年度</td> <td>区画整理</td> <td>130百万円</td> </tr> </table> <p>※記載内容は見込みであり内容は確定したものではない。</p> <p>⑥既整備内容・期間・事業費</p> <p>・該当なし</p>	平成31年度	測量・設計	20百万円	平成32年度	区画整理 用排水施設	150百万円	平成33年度	区画整理 農道	200百万円	平成34年度	区画整理 用排水施設	200百万円	平成35年度	区画整理	200百万円	平成36年度	区画整理	130百万円	<p>【事業位置図等】</p>
平成31年度	測量・設計	20百万円																	
平成32年度	区画整理 用排水施設	150百万円																	
平成33年度	区画整理 農道	200百万円																	
平成34年度	区画整理 用排水施設	200百万円																	
平成35年度	区画整理	200百万円																	
平成36年度	区画整理	130百万円																	

2. 系列覽表シート(1)

畑地帯総合整備事業 北原地区 一般計画平面図



2. 添付資料シート (2)



①高齢化や後継者不足により、耕作放棄地が増加している



②幅員も狭く老朽化した耕作道(すれ違いが出来ない)

区画整理のイメージ



整備前



整備後

担い手参入エリア

自作エリア



整備後イメージ

多様な担い手による醸造用ブドウ栽培

整備後の農地を自作エリアと貸し出しエリアに分けて集積し、貸し出しエリアについては新規担い手の参入を推進していく

凡 例	
	区画整理範囲
	自作エリア (果樹・野菜)
	担い手参入エリア (醸造用ブドウ)